

第16回瑞穂町行政評価委員会 次第

日 時 平成30年7月20日（金）午後2時

場 所 庁舎3階 委員会室

1 開 会

2 議 題

(1) 平成29年度事務事業評価シートの外部評価について

① 【子ども家庭支援センター事業】

② 【学校施設整備事業（校庭芝生化）】

③ 【ふるさと教育推進事業】

3 その他

平成 29 年度事務事業評価シート

4-1

事務事業名	子ども家庭支援センター事業		担当部署	福祉部	福祉課	子育て支援係
			作成者	吉岡 勝		
分野名	児童福祉		民間委託の形態	全部委託	<input checked="" type="radio"/>	一部委託
大項目	すべての子育て家庭への支援		実施計画書掲載	<input type="radio"/>		
小項目	子ども家庭支援センター「ひばり」の充実		事業期間			
根拠計画及び根拠法令	児童福祉法 児童虐待の防止等に関する法律 東京都子供家庭支援センター事業実施要綱					
内容・目的 <small>(どのようなことを行っているのか・どのような状態にしようとしているのか)</small>	福祉、保健・医療、教育等の各分野の関係機関と連携しながら、子どもと家庭に関する総合相談等を行うことにより、地域において子どもと家庭に関する支援ネットワークを構築し、福祉の向上に寄与する。 事業内容 ○子ども家庭総合ケースマネジメント事業 ・総合相談…身近な相談機関として、子どもと家庭に関するあらゆる相談に、一義的かつ総合的に対応する。 ・子ども家庭在宅サービス等の提供・調整…子どもと家庭に関する多様なニーズに対し、地域における子育て支援の社会資源を活用して、子ども家庭在宅サービス等の提供及び調整を行う。 ・サービスの調整…関係機関と連携し、個々の相談者が抱える問題に最も適した解決が図られるよう調整するなど、相談内容に応じた適切な指導・援助を行う。 ○地域組織化事業…地域において住民の自助・共助の子育て支援活動等を促進するとともに、地域の実情にあったサービスの開発を進める活動を積極的に支援する。 ○要支援家庭サポート事業 ・見守りサポート事業…児童相談所と連携し、軽度の児童虐待が認められるが、在宅での指導が適切と判断される家庭及び児童虐待により児童相談所が一時保護又は施設措置等を行った児童が家庭復帰した後の支援を行う。 ・養育支援訪問事業…養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、センター職員等がその居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。 ○在宅サービス基盤整備事業…地域における在宅サービスの担い手となりうる養育家庭の拡充に向け、センターが中心となり、地域住民への養育家庭制度普及等の活動を行う。					
経緯 <small>(いつからどのように始まったのか)</small>	・平成4年、東京都児童福祉審議会の一部に限られた子どもと家庭を対象にした、これまでの「児童福祉行政」から、すべての子どもと家庭を対象とした「子ども家庭行政」へ転換し地域における子育て支援ネットワークを構築する必要があると答申あり。 ・答申を受け、瑞穂町でも平成13年3月策定の長期総合計画において子ども家庭支援センター事業の実施を計画。 ・狭山谷会館を候補にあげ平成14年リニューアル調査を実施。 ・平成15年度防衛施設局より財産処分の決定を受ける。 ・平成15年度設計、平成16年度改修工事。 ・平成17年度4月開設し事業を開始。 ・平成25年度4月先駆型子ども家庭支援センターへ移行し事業開始。 ・平成28年6月児童福祉法改正により、児童等に関する支援（実情の把握、情報提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整）を一体的に担う拠点の整備が市町村の努力義務になり、国、都道府県、市町村の役割分担がより明確化。					
課題 <small>(どのような問題があるのか)</small>	児童虐待を防止するために、未然防止策を推進する必要がある。 来館者数の増加と相談業務との両立に向けた施設運営を検討する必要がある。					

【長期総合計画における進捗状況評価】 ※年度終了後に記入

進捗状況評価	A 目標を達成し施策（事業）は完了し、目的の効果を挙げた	説明 東京都及び関係機関主催の研修に積極的に参加し、相談員の専門性向上を図るとともに、要保護児童対策地域協議会を通じた地域の組織力強化を図った。また、保護者交流事業を通じ、子育てに関する疑問や悩みを保護者同士が共有することで、子育ての負担軽減、及び、児童虐待の未然防止に努めた。
	B 目標を達成し施策（事業）は完了したが、当初予定していた成果とは異なった、もしくは不明	
	<input checked="" type="radio"/> C 順調に進捗し、期待通りの成果をあげている	
	D 順調に進捗しているが、期待していた成果とは異なる、もしくは不明	
	E 当初の計画より遅れている、または取り組んでいない	
	F 当該事業実施の必要性がなくなった	

事務事業名	子ども家庭支援センター事業
担当部署	福祉部 福祉課 子育て支援係

【評価指標】

指標	指標名	H24					H25					H26					H27					H28					H29					H30					H31				
	指標①	職員1人当たりの新規相談対応件数	H24					H25					H26					H27					H28					H29					H30					H31			
目標値		単位																																							
実績値		単位	件	24.8	29.1	26.3	23.6	23.5	19.5																																
他自治体の状況		自治体名	羽村市	19.8	20.0	31.0	46.6	34.5	確認中																																
コメント		新規相談件数を配置職員人数で除した数。 新規相談件数の出典は「区市町村児童家庭相談統計」年報。																																							
指標②	職員1人当たりの新規相談対応件数	H24					H25					H26					H27					H28					H29					H30					H31				
	目標値	単位																																							
	実績値	単位	件	24.8	29.1	26.3	23.6	23.5	19.5																																
	他自治体の状況	自治体名	福生市		21.0	32.6	17.4	18.5	確認中																																
コメント		新規相談件数を配置職員人数で除した数。 新規相談件数の出典は「区市町村児童家庭相談統計」年報。																																							

【予算・決算等の状況】

(単位:千円)

年度	H24					H25					H26					H27					H28					H29					H30					H31				
	事業費	9,862	12,258	12,078	13,516	12,494	13,433	13,433	13,366	13,366	12,153	12,920	12,927																											
内訳	国庫支出金	401		978	574	877	717	717	717	717	791	937	937																											
	都支出金	2,785	6,731	5,453	6,366	6,132	6,494	6,494	6,494	6,494	5,790	5,672	5,672																											
	地方債及びその他の特定財源	10	7	6	7	9	7	7	17	17	9	6	6																											
	一般財源	6,666	5,520	5,641	6,569	5,476	6,215	6,215	6,138	6,138	5,563	6,305	6,312																											
予算・決算及びコメント	予算・決算等の構成	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	行評要求	実計掲載	当初要求	査定後	決算額	行評要求	行評要求																											
	報酬	4,144	5,949	6,396	5,865	6,296	6,880	6,880	6,439	6,439	5,471	6,533	6,533																											
	職員手当等	80	212	319	474	335	461	461	457	457	372	454	454																											
	報償費	162	124	216	148	122	249	249	147	147	98	169	169																											
	旅費	78	97	68	71	71	89	89	107	107	97	108	108																											
	需用費	1,056	1,225	1,012	2,778	1,040	1,138	1,138	1,130	1,130	1,166	1,066	1,066																											
	役務費	478	566	540	626	543	600	600	657	657	593	581	581																											
	委託料	3,382	3,890	3,424	3,430	3,754	3,899	3,899	3,807	3,807	3,764	3,893	3,893																											
	使用料及び賃借料	30	30	75	82	82	82	82	82	82	82	96	96																											
	備品購入費	452	132		35	233			11	11	11																													
	負担金、補助及び交付金		26	28		18	28	28	30	30		20	20																											
	公課費		7		7		7	7	7	7	7		7																											
	工事請負費								492	492	492																													
	コメント	屋上防水、下水管配管修繕したため事業費が増加												職員及び嘱託員研修旅費を計上					嘱託員報酬、交流事業指導員の謝礼を追加					公課費減					公課費増											

【住民等との協働に関する状況】

協働状況 (予定)	● 実施中
	○ 実施予定
	△ 検討中
	□ 未検討
	× 協働できない

該当に●を入力

協働事業名 (予定)	シート事業全部
	更生保護女性会による託児
	瑞穂農芸高校と事業共催
	生涯学習推進団体との事業共催

シート事業全部の場合、シート事業全部に「●」を入力
一部の場合、事業名を入力

協働による効果 (見込み)	事業費の削減。世帯間交流及び地域交流。 ボランティア団体の活動支援。
------------------	---------------------------------------

平成 29 年度事務事業評価シート

5-1

事務事業名	学校施設整備事業（校庭芝生化）		担当部署	教育部（局） 教育課（館） 庶務係		
			作成者	鳥海 仁		
事業概要	分野名	学校教育	民間委託の形態	全部委託	<input checked="" type="radio"/>	一部委託
	大項目	快適かつ安全な教育環境の整備	実施計画書掲載	○		
	小項目	環境に配慮した学校づくり	事業期間	平成21年度～		
	根拠計画及び根拠法令	町長公約、第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画、緑の学び舎づくり実証実験事業補助金交付要綱、東京都公立学校運動場芝生化維持管理経費補助金交付要綱				
内容・目的 <small>（どのようなことを行っているのか・どのような状態にしようとしているのか）</small>	<p>子どもの体力向上、芝生の弾力による安全性向上、環境教育の教材、夏場において砂地よりも芝生の方が校庭の温度が低くなる（ヒートアイランド対策）、砂の飛散や土砂の流失防止などの効果があり、緑の都市空間の再生や子どもたちの健全育成を図るため芝生化を推進する。また、芝生化後の維持管理組織を立ち上げ、芝生化を通して地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>町立小学校における校庭芝生化の全体的な整備計画を立てるとともに、設計及び工事を施工する。なお、計画作成にあたっては、学校及び学校開放による利用している団体等と調整及び協議をする。</p> <p>また、東京都の補助率を100%とするために芝生化後に芝生の維持管理において地元団体等の協力を得られるよう調整する。</p>					
経緯 <small>（いつからどのように始まったのか）</small>	<p>平成21年度に第五小学校のグリーンサンド（輝緑岩を粉砕加工し粒度調整した準全天候型天然舗装材）の校庭において、鳥取方式による芝生化試験を開始した。また、第一小学校の黒土の中庭においても鳥取方式による芝生化試験を開始した。一小については、生育しているが、五小においては、生育が乏しく、現在、各小中学校で整備しているグリーンサンドには不向きであることが判明した。</p> <p>平成22年度に三小の校庭芝生化工事設計委託を開始し、学校・PTA・校庭利用団体・町内会の代表者による検討委員会を設けて協議を進め、芝種・レイアウト等を決定した。芝生化面積が都内最大規模となり、その面積を維持管理する団体の組織化についても関係者から理解を得て、東京都の補助金の補助率を100%とすることができた。その後は、24年度に五小が竣工、25年度に二小が竣工し、26年度は瑞中が竣工予定した。また、5校目として一小の設計を平成26年度に行い、平成27年度に、一小工事が竣工し、四小の設計を行った。平成28年度に、二中の設計を完了し、四小の工事を完了した。平成29年度に、二中の工事を行う。</p>					
課題 <small>（どのような問題があるのか）</small>	<p>芝生化後の維持管理において、学校だけではなくPTA、校庭利用団体及び地元町内会の協力が不可欠である。芝生化を通して地域コミュニティの活性化を図る上で、どのような校庭芝生化を実施するかを、関係者の意見・要望等を取り入れながら進めていく必要がある。また、中学校においては部活動が盛んであり、野球とサッカー等が重複している状況であり、レイアウトに工夫が必要であるとともに、校庭利用団体がいないため維持管理組織の立ち上げにあたり、学校とPTAが基本となり事前の調整や情報提供が重要となる。なお、基本的に全面芝生化を前提としていくため、学校行事・体育の授業、校庭利用団体等とのレイアウトにおける意見調整が重要である。さらに中学校における維持管理について東京都と連携して進めていくことが必要である。</p>					

【長期総合計画における進捗状況評価】 ※年度終了後に記入

進捗状況評価	A 目標を達成し施策（事業）は完了し、目的の効果を挙げた	説明 校庭芝生化7校目となる二中の工事が終了し、全校校庭芝生化が完了した。
	B 目標を達成し施策（事業）は完了したが、当初予定していた成果とは異なった、もしくは不明	
	<input checked="" type="radio"/> C 順調に進捗し、期待通りの成果をあげている	
	D 順調に進捗しているが、期待していた成果とは異なる、もしくは不明	
	E 当初の計画より遅れている、または取り組んでいない	
	F 当該事業実施の必要性がなくなった	

29	年度	事務事業名 学校施設整備事業（校庭芝生化）	担当部署	教育部（局） 教育課（館） 庶務係
----	----	--------------------------	------	-------------------

【目標・成果等】 ※「目標」はシート作成時、「成果」「今後改善すべき点」「今後の方向性」は年度終了後に記入

年度 目標	<input type="radio"/> A 町長公約あるいは当該年度重要事業 <input checked="" type="radio"/> B 当該年度に新規を含む事業 <input type="radio"/> C 継続事業 <input type="radio"/> D 規模を縮小していく事業	説明	二中において、平成28年度に学校・PTA等との協議により完成した設計を基に施工し、平成29年度中の工事完了を目指し、児童の体力向上、環境意識の向上、ヒートアイランド対策、地域コミュニティの活性化を図る。
年度 成果	<input checked="" type="radio"/> A 目標を上回って達成できた。 <input type="radio"/> B 目標をほぼ達成できた。 <input type="radio"/> C 目標を半分まで達成できた。 <input type="radio"/> D 目標を一部しか達成できなかった。	説明	二中の工事は予定通り完了し、ヒートアイランド対策、生徒の体力向上、環境意識の向上、地域コミュニティ（維持管理組織が立ち上げられた）の活性化を図ることができた。
今後 改善すべき点	<input type="radio"/> A 実施済（中） <input type="radio"/> B 一部実施 <input type="radio"/> C 検討中 <input type="radio"/> D 未実施	説明	全小中学校の校庭芝生化が終了したため、今後は維持管理への事業転換を図る。各校の維持管理団体への助言や物的支援など、側面的支援を随時行う。

今後の方向性	<input type="radio"/> A 拡大 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="radio"/> C 手段等の見直し <input checked="" type="radio"/> D 縮小 <input type="radio"/> E 廃止・休止 <input type="radio"/> F 完了・終了	説明	全小中学校の校庭芝生化が終了したため、今後は維持管理への事業転換を図る。各校の維持管理団体への助言や物的支援など、側面的支援を随時行う。
--------	---	----	--

【事業の適正性】 ※シート作成時に記入

	主管課	査定
内容・方法	校庭芝生化は子どもの体力向上、環境学習、砂塵防止、緑化対策等の効果があるとともに、芝生の維持管理において学校や地域で組織する団体に依頼することにより、地域コミュニティの活性化を図ることができる。協働のまちづくりを推進する上でも必要な事業である。また、施工にあたり専門的な知識が必要となるため、学校施設等整備事業業務委託者を活用する。	すでに実施した芝生化の試験結果を検証するとともに、必要性を含め維持管理の方法、補助金の確保など内容を精査し、事業を実施することが必要である。
	民間活力導入の必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> 必要ではない
予算・人員	工事等の適切かつ効率的な執行を図るため、学校施設等整備事業業務委託が必要となる。芝生の維持管理（芝刈）は、芝生維持管理団体が行っているが、主として学校用務員が行っている現状である。学校用務員は、学校運営及び芝生の管理に不可欠な存在であるが、平成28年度に2名が交代した。新規採用に伴う影響を最小限にとどめ、適切かつ継続的な維持管理を行っていくために、用務員を統括する職員が必要となる。このため用務員1名の増員が必要となる。	維持管理経費や委託料について再度精査し、適正な執行額を計上することが必要である。また、現在、一般財源で行っている事業については、国や都、諸団体等からの補助金の確保に努める必要がある。人員については現状維持が原則であるが、外部委託など効率性を重視した新たな事業展開への創意工夫が必要である。
	人員増の必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> 必要ではない
総括	子どもの健全育成、環境学習、近隣への砂塵防止、ヒートアイランド対策を進める上で必要な事業と考える。また、芝生の維持管理を地域と協働して進めることにより、地域コミュニティの活性化が図られるため本事業は必要と考える。	町の緑化政策、児童の健全育成、環境学習を推進するうえで本事業は必要と考える。芝生化後の維持管理において、学校だけではなくPTA、校庭利用団体及び地元町内会の協力が不可欠であるため、効果的な維持管理体制を検討及び構築する必要がある。
	評価	評価
	<input type="radio"/> A 新規予算計上 <input type="radio"/> B 前年度予算を超えて事務事業を新設・拡大を行う <input type="radio"/> C 前年度予算内で事務事業を新設・拡大を行う <input checked="" type="radio"/> D 前年どおりの維持 <input type="radio"/> E 前年度予算内で事務事業を縮小または効率化を図って行う <input type="radio"/> F 予算措置を伴わない、事務事業の内部の調査・検討・実施を行う <input type="radio"/> G 統廃合を含めて、事務事業の中止・休止・廃止を行う	<input type="radio"/> A 新規予算計上 <input type="radio"/> B 前年度予算を超えて事務事業を新設・拡大を行う <input type="radio"/> C 前年度予算内で事務事業を新設・拡大を行う <input checked="" type="radio"/> D 前年どおりの維持 <input type="radio"/> E 前年度予算内で事務事業を縮小または効率化を図って行う <input type="radio"/> F 予算措置を伴わない、事務事業の内部の調査・検討・実施を行う <input type="radio"/> G 統廃合を含めて、事務事業の中止・休止・廃止を行う

【連携内容・意見等】 ※シート作成時、その後は随時記入

他課等との連携内容	学校における環境教育の推進のため指導課と連携を図るとともに、緑化事業として、環境課・建設課と連携する。また、地域コミュニティの活性化を図る面もあるため地域課とも連携する。
町民・議員・各種団体からの意見等	維持管理の実施形態について、維持管理団体からは、極力負担が軽減されるよう要望（専門的業務の業者委託等）が出ている。

事務事業名	学校施設整備事業(校庭芝生化)
担当部署	教育部(局) 教育課(館) 庶務係

【評価指標】

指標①	指標名	校庭芝生化率			H24	H25	H26	H27	H28	H29		H30	H31
	目標値	単位	%	28	43	57	71	85	100				
	実績値	単位	%	28	43	57	71	85	100				
	他自治体の状況	自治体名	羽村市	14	20	20	20	20	20				
コメント													
羽村市においては、平成22年度に1校施工済み。													
指標②	指標名	校庭芝生化率			H24	H25	H26	H27	H28	H29		H30	H31
	目標値	単位	%	28	43	57	71	85	100				
	実績値	単位	%	28	43	57	71	85	100				
	他自治体の状況	自治体名	日の出町		20	20	100	100	100				
コメント													
日の出町は平成24年度に1校施工済み。													

【予算・決算等の状況】

(単位:千円)

年度		H24	H25	H26	H27	H28	H29				H30	H31	
事業費		130,336	75,715	174,227	133,032	92,508	183,070	183,070	183,070	183,070	137,187	24,272	24,272
内訳	国庫支出金												
	都支出金	126,430	72,949	162,067	122,781	82,994	163,362	163,362	163,362	163,362	119,357	7,039	6,030
	地方債及びその他の特定財源												
	一般財源	3,906	2,766	12,160	10,251	9,514	19,708	19,708	19,708	19,708	17,830	17,233	18,242
予算・決算及びコメント	予算・決算等の構成	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	行評要求	実計掲載	当初要求	査定後	決算額	行評要求	行評要求
	設計委託料	2,289	2,174	2,160	4,442	3,348							
	工事費	117,495	62,895	158,814	112,207	70,740	157,139	157,139	157,139	157,139	114,696		
	維持管理経費(専門家による管理)	1,046	2,143	4,798	5,395	10,645	14,787	14,787	14,787	14,787	13,211	19,962	19,962
	維持管理備品購入費	5,373	3,903	3,211	3,240	2,725	4,320	4,320	4,320	4,320	3,804		
	工事監理委託料	2,919	3,392	3,618	4,860	3,348	3,456	3,456	3,456	3,456	3,402		
	維持管理消耗品費	291	268	405	832	650	1,120	1,120	1,120	1,120	847	1,300	1,300
	刈芝収集運搬処理委託	23	204	216	528	528	908	908	908	908	767	1,129	1,129
	学校施設等整備事業業務委託	900	660	947	1,209	422	930	930	930	930	370	388	388
	原材料費(目砂)		76	58	319	102	410	410	410	410	90	321	321
	賃借料(ロボット芝刈機)												
	芝刈業務委託											1,172	1,172
	コメント		五小工事 二小設計	二小工事 瑞中設計	瑞中工事 一小設計	一小工事 四小設計	四小工事 二小設計	維持管理経費は東京都の50%補助が受けられる。二小工事。				維持管理経費は東京都の50%補助が受けられる。芝刈業務年6回×7校。	維持管理経費は東京都の50%補助が受けられる。芝刈業務年6回×7校。

【住民等との協働に関する状況】

協働状況 (予定)	● 実施中
	● 実施予定
	○ 検討中
	○ 未検討
	○ 協働できない

該当に●を入力

協働事業名 (予定)	シート事業全部
	一部
	芝生維持管理事業

シート事業全部の場合、シート事業全部に「●」を入力
一部の場合、事業名を入力

協働による効果 (見込み)	芝刈り及び施肥を維持管理組織で行うことにより、地域に開かれた学校を推進するとともに、地域の活性化に繋がっている。
------------------	--

事務事業名	ふるさと教育推進事業		担当部署	教育部 指導課 指導係	
			作成者	奥泉 宏	
分野名	学校教育		民間委託の形態	全部委託	一部委託
大項目	自然や文化を大切にし郷土を誇れる子どもの育成 ほか		実施計画書掲載	○	
小項目	郷土を愛する心の育成 ほか		事業期間		
根拠計画及び根拠法令	第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画、第1次瑞穂町教育基本計画後期計画				
内容・目的 (どのようなことを行っているのか・どのような状態にしようとしているのか)	<p>子どもたち一人一人が夢や希望をもって自立的に未来を切り開いていくために、「ふるさと瑞穂」の自然や文化を愛し、社会に貢献できる児童・生徒を育成する。そのために、教育委員会では、地域の専門家・住民・町役場各課の力を借りた「ふるさと教育」を推進する。各小中学校が、特色あるふるさと教育を計画し、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり学習「街路樹等花植え活動」の実施（建設課との連携） ・自然環境学習「瑞穂町自然保護指針に基づく学習の実施」「小動物・野鳥・植物の観察」「ニホンイシガメの飼育」等の実施（けやき館等との連携） ・地域産業学習「狭山茶（茶摘み・茶もみ）」「シクラメン栽培・鑑賞」「牧場見学・搾乳体験」等の実施 ・伝統・文化学習「多摩東京だるまづくり体験」「村山大島紬体験」の実施 ・福祉学習「認知症理解学習」（高齢課との連携） ・地域企業等の活用「地域企業連携（宇宙の学習）」「瑞穂農芸高校との連携学習」の実施 ・地域の方との交流「瑞穂音頭の学習」「語りべ（企画課との連携）」の実施 ・横田ベースの活用「横田ベース小学校との交流」の実施 ・防災学習「地域における災害時の安全」「地域安全マップ」「救急救命講習」の実施 ・キャリア教育「職場体験学習」の実施 				
経緯 (いつからどのように始まったのか)	<p>ふるさと教育に関わる取組は、ゲストティーチャー等を活用して各校で実施している。新学習指導要領への改訂にあたり、「主体的・対話的で深い学び」の学習が重視されている。瑞穂町には、身近な地域の学習素材が多くある。これらを生かして「ふるさと教育の推進」を掲げ、体験的に学習を進めることで、児童・生徒の思考力・判断力・表現力を高め、本質的な学力の向上を目指すとともに、自然や文化を大切にし郷土を理解し、誇れる児童・生徒を育てる。</p>				
課題 (どのような問題があるのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとに特色ある「ふるさと教育」のプランを立て創造的な教育を推進する。 ・ゲストティーチャー等となる、地域の専門家や地域住民のさらなる発掘、また、町役場他部課との連携体制を整える。 				

【長期総合計画における進捗状況評価】 ※年度終了後に記入

進捗状況評価	A 目標を達成し施策（事業）は完了し、目的の効果を挙げた	説明 推進委員会の実施により、29年度から始めたふるさと学習「みずほ学」の形が整い、30年度に向けての準備もできた。実践事例集により、各小中学校の実践の共有もできた。
	B 目標を達成し施策（事業）は完了したが、当初予定していた成果とは異なった、もしくは不明	
	● C 順調に進捗し、期待通りの成果をあげている	
	D 順調に進捗しているが、期待していた成果とは異なる、もしくは不明	
	E 当初の計画より遅れている、または取り組んでいない	
	F 当該事業実施の必要性がなくなった	

29年度	事務事業名	ふるさと教育推進事業	担当部署	教育部 指導課 指導係
------	-------	------------	------	-------------

【目標・成果等】 ※「目標」はシート作成時、「成果」「今後改善すべき点」「今後の方向性」は年度終了後に記入

年度目標	<input type="checkbox"/> A 町長公約あるいは当該年度重要事業 <input checked="" type="checkbox"/> B 当該年度に新規を含む事業 <input type="checkbox"/> C 継続事業 <input type="checkbox"/> D 規模を縮小していく事業	説明	瑞穂町には、身近な地域の学習素材が多くある。これらを生かして「ふるさと教育の推進」を掲げ、体験的に学習を進めることで、児童・生徒の思考力・判断力・表現力を高め、本質的な学力の向上を目指すとともに、自然や文化を大切にし郷土を理解し、誇れる児童・生徒を育てる。
年度成果	<input type="checkbox"/> A 目標を上回って達成できた。 <input checked="" type="checkbox"/> B 目標をほぼ達成できた。 <input type="checkbox"/> C 目標を半分まで達成できた。 <input type="checkbox"/> D 目標を一部しか達成できなかった。	説明	体験的な学びを通し、地域に根ざした学習活動が充実した。「みずほ学型学習過程」の提示により、新学習指導要領の大きな柱である「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学びが進んだ。
今後改善すべき点	<input checked="" type="checkbox"/> A 実施済（中） <input type="checkbox"/> B 一部実施 <input type="checkbox"/> C 検討中 <input type="checkbox"/> D 未実施	説明	平成29年度の取組を基に、全小中学校の計画の見直しを支援し、学校ごとの特色あるふるさと学習「みずほ学」を創り上げていく。

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A 拡大 <input type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 手段等の見直し <input type="checkbox"/> D 縮小 <input type="checkbox"/> E 廃止・休止 <input type="checkbox"/> F 完了・終了	説明	平成29年度の取組を基に、全小中学校の計画の見直しを支援し、学校ごとの特色あるふるさと学習「みずほ学」を創り上げていく。
--------	---	----	--

【事業の適正性】 ※シート作成時に記入

	主管課	査定
内容・方法	「ふるさと瑞穂」を理解するための地域学習においては、地域のスペシャリストからの学びが必要である。また、体験的な学習を推進することが、学びを確かな力として身に付けることにつながる可以考虑。地域素材を学習材として、「主体的・対話的で深い学び」のある教育活動を推進する。 民間活力導入の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 必要ではない	新学習指導要領への改訂にあたり、「主体的・対話的で深い学び」の学習が重視されているなか、地域のスペシャリストからの体験的な学びを通し、地域に根ざした学習活動ができていく。引き続き、体験的な学習を推進し、学びを確かな力として身に付けることにつながる必要がある。
予算・人員	ゲストティーチャーを招聘するために、教科等講師謝礼の予算を確保することが必要である。また、地域の専門家・住民、町役場他部課との連携が必要である。 人員増の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 必要ではない	地域の専門家・住民、関係部署との連携を強化し、人材を確保することが必要である。事業内容によって人員の増強が必要な場合は、課内あるいは部内で配置換え等による対応を行う必要がある。
総括	これまでに各小・中学校で教育活動として実施してきたこと、町役場各部課での事業を各学校に協力依頼してきたことを、「ふるさと教育推進事業」として掲げ、「ふるさと瑞穂」の自然や文化を愛し、社会に貢献できる児童・生徒を育成する。	子どもたち一人一人が夢や希望をもって自立的に未来を切り開いていくために、「ふるさと瑞穂」の自然や文化を愛し、社会に貢献できる児童・生徒を育成する必要がある。引き続き、「ふるさと教育」を推進し、各小中学校が、特色あるふるさと教育を計画し、実施する必要がある。
評価	<input type="checkbox"/> A 新規予算計上 <input type="checkbox"/> B 前年度予算を超えて事務事業を新設・拡大を行う <input type="checkbox"/> C 前年度予算内で事務事業を新設・拡大を行う <input checked="" type="checkbox"/> D 前年どおりの維持 <input type="checkbox"/> E 前年度予算内で事務事業を縮小または効率化を図って行う <input type="checkbox"/> F 予算措置を伴わない、事務事業の内部の調査・検討・実施を行う <input type="checkbox"/> G 統廃合を含めて、事務事業の中止・休止・廃止を行う	<input type="checkbox"/> A 新規予算計上 <input type="checkbox"/> B 前年度予算を超えて事務事業を新設・拡大を行う <input type="checkbox"/> C 前年度予算内で事務事業を新設・拡大を行う <input checked="" type="checkbox"/> D 前年どおりの維持 <input type="checkbox"/> E 前年度予算内で事務事業を縮小または効率化を図って行う <input type="checkbox"/> F 予算措置を伴わない、事務事業の内部の調査・検討・実施を行う <input type="checkbox"/> G 統廃合を含めて、事務事業の中止・休止・廃止を行う

【連携内容・意見等】 ※シート作成時、その後は随時記入

他課等との連携内容	役場他部課ですでに実施している事業との連携体制を整える
町民・議員・各種団体からの意見等	

事務事業名	ふるさと教育推進事業
担当部署	教育部 指導課 指導係

【評価指標】

指標①	指標名	地域人材等を活用した学習活動の実施校			H24	H25	H26	H27	H28	H29			H30	H31
	目標値	単位	校						7	7			7	7
	実績値	単位	校						7	7				
	他自治体の状況	自治体名												
	コメント													

指標②	指標名				H24	H25	H26	H27	H28	H29			H30	H31
	目標値	単位												
	実績値	単位												
	他自治体の状況	自治体名												
	コメント													

【予算・決算等の状況】

(単位:千円)

年度		H24	H25	H26	H27	H28	H29					H30	H31
内訳	事業費					958	1,284	1,284	1,176	1,176	846	1,284	1,284
	国庫支出金												
	都支出金												
	地方債及びその他の特定財源												
	一般財源					958	1,284	1,284	1,176	1,176	846	1,284	1,284
予算・決算及びコメント	予算・決算等の構成	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	行評要求	実計掲載	当初要求	査定後	決算額	行評要求	行評要求
	教科等講師謝礼					457	763	763	728	728	439	763	763
	栽培活動消耗品費					270	270	270	152	152	151	270	270
	茶道用消耗品費					79	80	80	80	80	73	80	80
	職場体験賠償責任保険料					152	171	171	153	153	120	171	171
	印刷製本費								63	63	63		
	コメント												
	体験的な学習を進めるための経費												
	同左												
	同左												

【住民等との協働に関する状況】

協働状況 (予定)	● 実施中
	● 実施予定
	○ 検討中
	○ 未検討
	○ 協働できない

該当に●を入力

協働事業名 (予定)	シート事業全部
	地域資源を活用した学習活動
一部	

シート事業全部の場合、シート事業全部に「●」を入力
一部の場合、事業名を入力

協働による効果 (見込み)	自然や文化を大切に郷土を理解し、誇れる 児童・生徒の育成
------------------	---------------------------------

相談種別一覧

相談種別		説明
養護相談	被虐待	児童虐待の防止等に関する法律の第2条に規定する身体的虐待、性的虐待、心理的虐待及び保護者の怠慢・拒否(ネグレクト)に関する相談。
	養護	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、入院、就労及び服役等による養育困難児、迷子、親権を喪失した親の子、後見人を持たぬ子ども等児童虐待相談以外の環境的問題を有する子ども、養子縁組に関する相談。
保健相談		未熟児、虚弱児、ツベルクリン反応陽転児、内部機能障害、小児喘息、その他の疾患(精神疾患を含む)を有する子どもに関する相談。
障害相談	肢体不自由	肢体不自由児に関する相談。
	視聴覚障害	盲(弱視を含む)、ろう(難聴を含む)等視覚聴覚障害児に関する相談。
	言語発達障害	構音障害、吃音、失語等音声や言語の機能障害をもつ子ども、言語発達遅滞、注意集中障害を有する子ども等に関する相談。ことばの遅れの原因が知的障害、自閉症、しつけ上の問題等の他の相談種別に分類される場合はそれぞれの種別に計上。明らかに障害であるもの以外は「育児・しつけ相談」に計上。
	重症心身障害	重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している子どもに関する相談。
	知的障害	知的障害児に関する相談。
	発達障害	自閉症若しくは自閉症同様の症状を呈するアスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の児童に関する相談。
非行相談	ぐ犯等	虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のぐ犯行為、問題行動のある子ども、警察からぐ犯少年として通告のあった子ども、又は触法行為があったと思慮されても警察から法第25条による通告のない子どもに関する相談。
育成相談	性格行動(就学児のみ)	子どもの人格の発達上問題となる反抗、友達と遊べない、落ち着きがない、緘黙、無気力、引っ込み思案、家庭内暴力、生活習慣の著しい逸脱等性格もしくは行動上の問題を有する子供に関する相談。
	不登校	いわゆる登校(登園)拒否等及び幼稚園並びに保育所に在籍中で登校(園)できない、していない状態にある子どもに関する相談。非行が主である場合や精神疾患、養護問題が主である場合等には、それぞれの項に計上。
	適性	進学適性、職業適性、学業不振等、不登校以外で学校に関する相談。
	育児・しつけ(未就学児のみ)	家庭内における幼児のしつけ、子どもの性教育、遊び等に関する相談。
その他		上記以外

子どもたちは、地域の一員として育ち、地域社会の形成者としてたくましく成長していくことが望まれます。瑞穂町教育委員会では、次代の担い手としての子どもたちのよりよい成長を目指し、平成29年度から地域に根差した教育の推進を重視します。第1次瑞穂町教育基本計画後期計画（学校教育）に基づき、瑞穂町の全ての小・中学校で、子どもたちが夢や希望をもって自立的に未来を切り開いていくために、「ふるさと瑞穂」の自然や文化を愛し、社会に貢献できる児童・生徒を育成します。各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動等をとおして、新たな施策「ふるさと学習『みずほ学』」を進めていきます。

「みずほ学」とは…

地域を知り 地域と関わり 地域で学び 地域でできることをする学び

- 地域の自然、地域の伝統・文化・歴史、地域産業、地域の方々との交流、国際交流、企業・高校等との交流、福祉、まちづくり、安全・安心等について学びます。
- 体験的な活動を通して、まちへの関心を持ち、まちの素晴らしさを知り、まちのよさに誇りを持ち、まちづくりのためにできることを実践し、よりよいまちづくりに貢献する態度を養います。
- 次期学習指導要領の大きな柱である「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学びで、学習活動の質的転換を図り、思考力・判断力・表現力を付けます。
- 学習活動の中で、子どもたちが互いの理解を深めたり、よさを認め合ったりする場を大いに生み出し、よりよい人間関係の形成に繋げ、豊かな心を育みます。



「みずほ学」では…

体験 協働 創造 思考 追究 表現 をしながら学びます。

① 「知る」学び…地域の自然・文化・歴史を探究します。

② 「関わる」学び…地域の皆さんと交流します。

③ 「する」学び…地域で「わたしにできること」を実践します。

「みずほ学」の例…

◇各小・中学校で「ふるさと学習『みずほ学』」の学習を教育課程に位置付け、「みずほ学」を推進します。
◇下記の活動はほんの一例です。他にも各小・中学校の地域の特色を生かした「みずほ学」を展開していきます!!



【自然】
○小動物・野鳥の学習
○植物の観察学習
○ニホンイシガメの飼育
○エコパークでの学習



【地域産業】
○狭山茶の学習
(茶摘み・茶もみ)
○シクラメン栽培・鑑賞
○牧場での学習
(搾乳・動物とのふれあい)
○観光ポスター



【地域の方との交流】
○瑞穂音頭の学習（全小学校）
○聞く・受け継ぐ「語り部」学習
○昔遊びの学習
○給食交流

【キャリア教育】
○職場体験学習（全中学校）

【福祉】
○認知症理解学習（全小学校）
(認知症サポーターになろう!)

【伝統・文化・歴史】
○東京多摩だるまの学習
○村山大島紬の学習
○瑞穂町歌の学習
○お囃子・和太鼓



【企業・高校等との連携】
○地域企業（IHI）宇宙の学習
○瑞穂農芸高校との交流

【国際交流】
○米軍横田基地との交流
○モーガンヒル市（米国）との交流
○コンケン市（タイ）との交流

【まちづくり】
○春・秋の街路樹等花植え活動（全小学校）
○地域清掃活動



【命を守る】
○救命救急講習（全小学校）

【安全・安心】
○地域における災害時の安全学習
○地域安全マップづくり

「まちの先生」…

◇地域の方々を「まちの先生（ゲストティーチャー）」として招き、体験的な活動等を通じた学習を推進します。
【まちの先生】○保護者等教育ボランティア ○地域に詳しい方（専門家等） ○地域の高齢者の皆さん ○地域の職場（企業・農家等）の皆さん
○町行政（図書館・けやき館・社会教育課・企画課・建設課・高齢課）等 全ての皆さんのご協力により進める「みずほ学」です。
◇「まちの先生」を発掘し、「まちの先生リスト」の作成を進めます。

◇地域教材のよさ…子どもたちの興味・関心を得やすく、学習した後も子どもたちの成長の中で身の回りに在り続けます。ですから、学びをその後の学習に発展させる契機となり得る可能性を秘めています。このような学びのできる「ふるさと学習『みずほ学』」は、たくましく生きる力を育てることに繋がっていくと考えます。

ふるさと学習「みずほ学」 単元を通した「みずほ学」型学習過程 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～



「『み』つける」…課題を設定し、学習計画を立てる。

「『す』ずめる」…計画を基に追究し、まとめ、発信する。

「『ほ』ほえむ」…学びの達成感や成就感を味わう。

「みつける」時間

1 発見

◆課題発見のきっかけとなる出会いをする。

- これまでの生活経験や既習事項を想起する。
- 各教科等での既習事項、様々な行事等との関連を図る。
- 題材に十分ふれ、課題設定に結び付く体験的な活動をする。
- 「まちの先生（ゲストティーチャー）」等から学ぶ。
- 身近な事象とのふれあいを通して、疑問をもつ。
- 体験等により感じたことを発表し合い、感想交換の場をもつ。
- 感想の交換により、課題設定のイメージをつかみやすくする。
- 自分に取り組もうとする学習課題を絞る。

2 設定・計画

◆課題の設定・学習計画を立てる。

- 「発見」の学習を基に、価値ある課題を決める。
- 課題について、調べたいこと（学習のゴール）を明確にする。
- 学習のゴールを目指し、学習の方法や手順を計画する。
- 追究に必要な準備物を考える。
- どのようにまとめ、発信するのか計画する。
- 与えられた時間の使い方を考え、学習計画を立てる。
- 見通しのある学習を進めるための「学習計画表」を作成する。

「すすめる」時間

3 追究

◆情報収集・整理・分析しながら課題を追究する。

- 学習課題を振り返りながら、計画表を基に学習する。
- 毎時間の学習を振り返りながら、追究を進める。
- 考え・調べ・発見し・確かめながら、目標の達成に近づく。
- 見学・実験・観察を行い、必要なことを記録する。
- 「まちの先生（ゲストティーチャー）」等から詳しく学ぶ。
- 本・ビデオ・カメラ・電話・インターネットなどを活用する。
- 必要に応じて、インタビューやアンケートを行う。
- 情報交換を充実させ、新たな課題を見付ける。
〈例1〉中間発表日を設け、ワークショップ形式等で交流し合う。
〈例2〉毎時間、グループ学習等、交流の時間を設定する。
- 情報交換を基に、アドバイスし合いながら、追究を深める。
- 必要に応じて、計画を追加したり修正したりする。
- 学習のゴールにたどり着くまでに、発信の方法を見直す。

4 まとめ・表現

◆追究した成果をまとめたり発信したりする。

- 「学習計画表」を基に、一時間一時間を振り返る。
- 追究してきた学習の過程を整理する。
- 相手に伝わる分かりやすいまとめ方と発表方法を考える。
- 新聞・絵本・紙芝居・模造紙・レポートなどにまとめる。
- 表・グラフ・写真などを使って分かりやすくする。
- ビデオを使ったりクイズにしたりするなどの工夫をする。
- 実際に物を見せたりやって見せたりする工夫をして発表する。
- 自分が学んで得た気付き、思いや願い、喜びなどを伝える。
- 発表・発信により、自分の学びをより確かなものにする。
- 発信したいことは、まず、自分から実践する。
- 友達の発表からも学び、感想を伝える。
- 学んだことを自分の生き方に生かす。

だいすき
みずほ！

「ほほえむ」時間

- 「発見」の学習をする前の自分と比べ、その変容を感じる。
- 自分の学びに自信をもち、達成感や成就感を味わう。
- 学びを深めたり広げたりし、生活に生かしていこうとする。